

日 本 史 B (100点満点)

問 題 番 号 (配点)	設 問	解答番号	正 解	配 点	問 題 番 号 (配点)	設 問	解答番号	正 解	配 点	
第1問 (18)	1	1	3	3	第4問 (16)	A	17	3	3	
	2	2	5	3			18	1	3	
	3	3	4	3			19	4	3	
	4	4	3	3		B	20	4	3	
	5	5	4	3			21	6	4	
	6	6	6	3		第5問 (12)	1	22	1	3
第2問 (16)	A	1	7	2	3		2	23	1	3
		2	8	5	3		3	24	3	3
	B	3	9	3	4		4	25	2	3
		4	10	3	3	第6問 (22)	1	26	5	3
		5	11	4	3		2	27	2	3
第3問 (16)	1	12	3	4	3		28	3	3	
	2	13	1	3	4		29	1	3	
	3	14	3	3	5		30	4	4	
	4	15	3	3	6		31	2	3	
	5	16	4	3	7		32	3	3	

(2023)

共通テスト模擬問題 解説

第1問 共通テストの試行テストに見られた独特の形式。主題学習風。

- 問1 語群を見ると、「宗教・戦争」または「破壊・修復」。Iを破壊、IIを修復と見れば当てはまる。一方で、IIの高松塚古墳壁画は宗教的ではなく、Iの法隆寺金堂壁画焼損は直接には戦争によるものではない。
- 問2 アは廃仏毀釈は破壊・明治、イは方広寺鐘銘事件で修復・江戸、ウは磐井の乱で破壊。
- 問3 X：アから11世紀初頭までは本格的な伽藍配置だったことが分かり、ウの史料と時期・内容に矛盾はないのでaよりbの方が適切。Y：イから12世紀後半に焼亡していること、エより12世紀末には伽藍が跡しか残っていないことが分かるので、dがふさわしい。★ところで興福寺宗徒たちはなぜこんなことをした？
- 問4 (1) I～IVはすべて文としては正文である。ただし、IIとIIIは古い要素＝創建当初のままの可能性を示すもので、再建論の根拠として不適切（むしろ非再建論側の根拠）である。★共通テストが好きそうな話題。
- (2) ①は源頼朝、②は足利義満、③は徳川家斉、④は徳川綱吉の説明であり、かつ4人とも「征夷大將軍」で「源」氏である。徳川の家紋があり、浮き彫りの文章に「元禄」とあるのだから綱吉である。
- 問5 aは建長寺船や天龍寺船の説明で、個人の私財の供出とは東大寺再建の勧進活動などを指し中世。bは高度成長期の遺跡保存（文化財保存運動）。cは一国一城令や武家諸法度の説明で近世。dは国宝の説明で近代。難しいが、これが分からなくても他で正解できる。eは古代の都城（長方形を基本とした都市）の説明。平城京を作ることによって多くの古墳が消滅している。★平城天皇陵とされる古墳は平城京建設時に削られている。あれ？

第2問 原始古代。22年追試で原始が出題されているので注意。

- 問1 弥生時代の金属器(X)は新来的要素であり、竪穴住居は縄文時代以来の伝統的要素であるから、ここではXとdを選ばなければならない。単に暗記だけではXかYかを選べない。
- 問2 Iは倭王武（5世紀）、IIは推古朝（7世紀）、IIIは倭国王元帥升（2世紀）。いずれも基本的な史料。アは古墳時代、イは弥生時代、ウは推古朝の対等外交。資料と説明を組み合わせること、単なる説明ではなく歴史的意義であること、それを時代順にするという、高度な思考が要求される問題、…のはずだが、実はIII→I→IIかI→A→ウか片方が分かれば正解が導けてしまい、難度は低い。
- 問3 ①調は「都から」ではなく「都へ」運ぶもの。②「肥前国目」は肥前国司だから（目は「さかん」）中央貴族が派遣されているはず。③Cの木簡だけ出土が藤原宮。④六位では蔭位はない。
- 問4 史料を読めばaが正文、bが誤文と読める。cは天慶の乱、dは平忠常の乱の意義を述べている。
- 問5 ④は『風土記』の説明なので、文としては正しくても時期が合わない。時期による正誤判断は諸君が苦手とするところ。しかも時期指定が設問文になく、問題文Bにあるだけ（しかも下線なし）なのが危ない。

第3問 中世。地名と地図が題材の、比較的平易な問題。

- 問1 a：地頭請ではなく下地中分の名残り。d：門前町ではなく寺内町。
- 問2 X・Yともに正文。
- 問3 Iは鹿苑寺金閣（北山文化）、IIは重源による東大寺再建（鎌倉文化）、IIIは雪舟（東山文化）。
- 問4 ③石高制→貫高制
- 問5 絵画の読み取り問題。a・cは描かれている通り。b・dは誤文とは言えないが、その情報はこの絵からは読み取れない。このような「正しくても資料からは読み取れない」は共通テスト的。

第4問 近世の問題。近世は初見史料の読み取りが多く出されている。

問1 ①15万人=11万5千人+1万人+2万5千人。計算は合っている。②「親戚」「家臣」などの記載がある。③「琉球に命じて」いる。④「殺す能わず」とある。

問2 ①舟橋蔭絵硯箱は江戸初期、②西洋婦人図は江戸後期、③紅白梅図屏風は元禄文化、④唐獅子図屏風は桃山文化である。写真問題も名称・作者だけでなく、時期を意識しよう。

問3 相反する評価を持つ事例を使った共通テストらしい問題。 根拠として正しいかどうかを問うているが、朝鮮から略奪した活字よりキリシタン版（南蛮文化）の活字の方が古いのでaはXには不適切。cの三浦の倭館は室町時代から存在しているので、秀吉の出兵と時代が前後するのでYには不適切である。

問4 aはシドッチのことで正徳の治=18世紀。bはフェートン号事件。cは18世紀。

問5 Iは慶応の改革、IIは文久の改革、IIIは安政の改革。幕末史は、桜田門外の変と第一次長州征伐を区切りに整理すると良い。III（阿部正弘）→桜田門→II→長州征伐→I（將軍慶喜）。

第5問 生徒による主題学習風。

問1 Xは工部美術学校、Yは学制の説明で、ともに正文。

問2 a：「一円で読める」などとあり、円本の広告と分かる。b：「明治大正の文豪」とあるから、早くとも大正時代に出された広告と分かる。c・d：「分売を許さず読者を緊縛して」とあり、批判的である。なお、この岩波文庫の歴史的な名文は、現在の岩波文庫の最後にのせられている。

問3 II：白樺派は大正前期が中心。III：発禁になったのは石川達三の『生きてゐる兵隊』

問4 a：資料アと合致する。b：資料イをよく見ると、小麦の消費量は米を上回っていない。c・d：資料イのグラフは1990年で終わっているが、資料ウと組み合わせると、その後も米の消費が伸びていないことが読み取れる。

第6問 高校生が苦手の近現代経済史。特に円の価値を整理したもの。しっかり学んでほしい。そもそもグラフの見方が要注意。1ドル=何円かが縦軸なので、グラフの上昇=円安、下降=円高である。

問1 I：新貨条例は明治初期。II：国立銀行条例改正は、大隈財政のインフレ期で西南戦争直前。III：幕末の開国直後の説明である。

問2 ①も②も日露戦争の風刺画だが、「日露戦争を支える当時の国際情勢」=イギリスが日本を援護したことが、①には含まれない。また、③・④は日露戦争の経緯やポーツマス条約の内容を踏まえており、「9年も前に日露戦争を予言」に該当しない。

問3 グラフを選択肢にするのが難しい。緊縮財政（井上デフレ）の影響でないのは③で、落ち込みの底の時期が微妙に違う。これは宇垣軍縮の結果である。

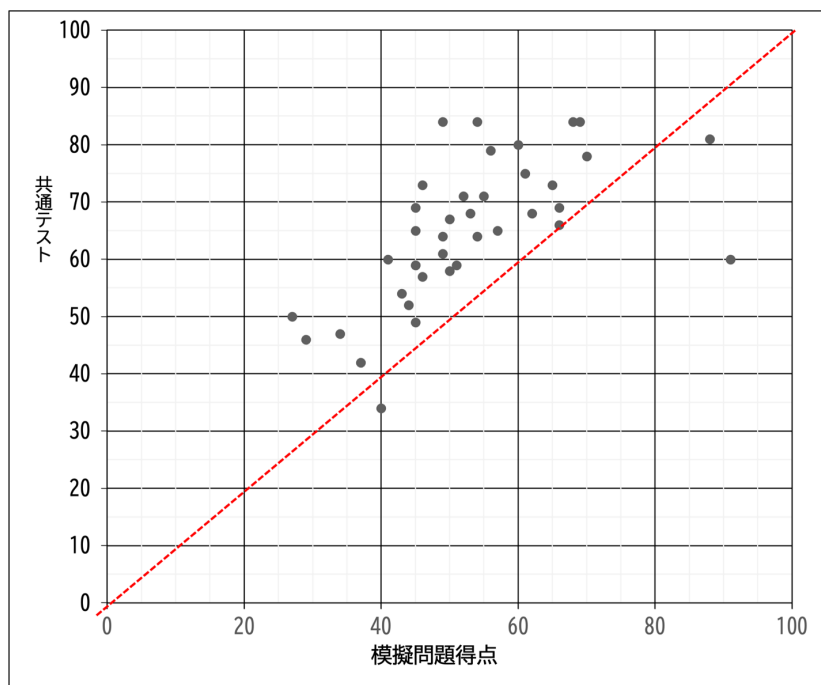
問4 昭和初期の高橋インフレ財政を選ぶ。b・dは明治の産業革命期の出来事である。

問5 ①1885年は松方デフレの時期で、自由民権運動は激化期である。②選挙権の納税資格を3円に下げたのは大正の原内閣である。③統帥権干犯が問題になったのはワシントン会議。

問6 この形式も共通テスト試行で見られた。 X：むしろ大幅に円安になっている。Y：グラフを見ると、日露戦争でも第一次大戦でも大きな変動は起こっていない。Zは正文で、これとつながるのはbである。

問7 ①むしろ円の価値は上がっている。②73年と79年のグラフの落ち込み（見た目は上り）の幅を比較すれば正文と分かる。③この3つは、資料Bのグラフでは描かれおらず、影響の有無は読み取れない。

2022年度のデータ（模擬問題と共通テスト本番の点数比較）



模擬問題平均 52.7

共通テスト平均 64.8（全国平均は59.8）

